



# 新成長分野

「新しいコミュニティの形」の創造

## 強み

- 国内エネルギー事業で培った技術力、顧客基盤や信頼関係
- 他社との迅速な協業によるシナジー効果の最大化
- 日本エスコン連結子会社化による不動産事業におけるシナジー効果

## リスク

- 競合他社との競争激化

## 機会

- コミュニティ課題解決に対するニーズの高まり
- ライフサイクルや社会情勢の変化

## 取り組み

- **医療**：デジタルヘルスサービスなどによる医療支援を通じて、人や地域に根差し、医療の架け橋となる
- **食農**：イノベーションを追求し、持続可能で強靱な食料インフラへ進化させることで、食の恵みを途絶えさせることなく、人々の豊かさを支える
- **不動産・生活関連**：地域の特色にDXを融合し、その地域に住み続けたい環境を構築する
- **エネルギー周辺**：エネルギー、交通事業におけるDX,GXの担い手となり、持続可能な形で、人と社会に明かりと繋がりを提供する
- **データプラットフォーム**：さまざまなデータの掛け合わせによる新たなサービスを提供する

## 目標

- 情報ネットワークと最新の技術を活用した「新しいコミュニティの形」の提供
- 2022～2025年度累計  
新成長等戦略的投資額1,000億円程度



浜松サービスエリア(下り)のEV急速充電器 Link e-Mobility Power

事業創造本部は、さまざまなコミュニティが抱える社会課題に対し、その解決に資するサステナブルな事業・サービスを創造・提供し、新しい収益の柱を確立します。



専務執行役員 事業創造本部長

大谷 真哉

事業創造本部は、経営ビジョンで掲げる成長分野確立のため、2019年に発足しました。希薄化の進む現代のコミュニティにおける、さまざまな社会課題の解決に寄与する新たなソリューションの提供を目指しています。これまで電気事業と親和性の高い領域、その他の有望領域における新規事業開発を進めると同時に、既存データの蓄積業務を通して新たな活用方法を検討し、データプラットフォームの構築も進めてまいりました。

今後も私たちは、DXを通じて社会課題の解決していくことで、ずっと安心して住み続けられる「まちづくり」を目指し、「脱炭素・循環型社会の実現」を推進します。さらに「地域の課題解決と活性化への貢献」に寄与し、「(ビジネスパートナーとともに)お客さまの暮らしを豊かにするサービスのお届け」を中部電力グループをあげて加速させてまいります。

## 目指す姿

地域社会とともに、そして一人ひとりに寄り添い「誰もが安全・安心に暮らし続けることができるコミュニティづくり」により、2030年までに、持続可能な地域社会を支えるコミュニティサポートインフラを実現する。

「新しいコミュニティの形」の創造



暮らし・産業・コミュニティなどのあらゆる課題を解決するサービスへ昇華し、「新しいコミュニティの形」を創造します

<p><b>ヘルスケア</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フレイル検知サービス</li> <li>オンライン診療などのサービス開発</li> </ul> <p>Link eフレイルナビ</p>	<p><b>食農</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>完全人工光型レタス工場の運営</li> <li>穀物など一次生産事業の開発</li> </ul> <p>Link TSUNAGU Community Farm</p>	<p><b>EV</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>EVバス/トラックの導入支援</li> <li>EV充電インフラの拡充</li> <li>充電器エネマネ「OPCAT」</li> </ul> <p>Link e-Mobility Power</p> <p>Link OPCAT</p>	<p><b>コミュニティ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域情報サービス</li> <li>きずなネット</li> <li>子育て支援</li> </ul> <p>Link きずなネット</p>	<p><b>インフラ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ガス・水道の自動検針</li> <li>みまもりポール</li> </ul> <p>Link ガス・水道の自動検針サービス</p> <p>Link みまもりポールサービス</p>
--	---	---	---	---

第6回日本オープンイノベーション大賞にて、「選考委員会特別賞」を受賞

内閣府主催の第6回日本オープンイノベーション大賞にて『「電力データ×AI」でのフレイル検知」産官学連携で高齢化社会課題に挑む』について、合同会社ネコリコと株式会社JDSC、三重県東員町、東京大学大学院と共同で応募し、「選考委員会特別賞」を受賞しました。



左から2番目は合同会社ネコリコ(中部電力グループ)の木全代表、4番目は中部電力事業創造本部山本ユニット長

当取り組みは、追加設備(センサーなど)の設置が必要なく、全国展開によって誰もが日常生活を送る中でフレイル対策できることや、技術的基盤、事業計画などがオープンイノベーションとして高く評価されました。

商用EVの最適充電マネジメントシステム「OPCAT」のサービス提供を開始

アークエレクトロニクス株式会社と路線バスや配送トラックなどの商用EV向けに、時間帯別の電気料金やEVの運行計画を組み合わせることで充電スケジュールをAIにより自動生成し、効率的なEV充電を可能にする充電マネジメントシステム「OPCAT(オプキャット)」\*を共同で開発しました。

OPCATのサービス提供を通じて、商用EVのさらなる普及に向けた課題解決、環境整備を進めることで、社会やお客さまとともに脱炭素社会の実現に貢献していきます。

\*Optimization Charge and Transportationの略

